



池田 良穂 (大阪経済法科大学 客員教授) の

新クルーズ学

41

沖繩が本土復帰する
前、鹿児島県最南端の離
島である与論島は若者に
とって憧れの島で、19
70年代の離島ブーム時
には年間20万人もの観光
客が訪れたといえます。
その後、観光客数は漸減
して平成24年の5万人が
ボトムとなり、その後増
加に転じて今は7万人に
まで回復しています。

先月、鹿児島と沖繩を
結ぶ航路に、マリックス
ラインの新造船「クイー
ンコラル・クロス」が
就航する機会に与論島に
出かけることにしまし
ます。

と、鹿児島と沖繩を結ぶ航路に、マリックスラインの新造船「クイーンコラル・クロス」が就航する機会に与論島に出かけることにしました。

と、鹿児島と沖繩を結ぶ航路に、マリックスラインの新造船「クイーンコラル・クロス」が就航する機会に与論島に出かけることにしました。

与論島ワンデイクルーズ



処女航海で与論島に寄港するマリックスラインの「クイーンコラル・クロス」

に着きました。タクシーを呼んで島内のホテルのレストランに行って地元料理の昼食をとり、港に戻って付近を散策すると、鹿児島から処女航海をしてきた「クイーンコラル・クロス」が入港してきました。岸壁には島民がたくさん集まって歓迎式典が繰り広げられました。

出港した船上では、マリックスラインの岩男社長や、建造した内海造船の加賀基本設計部長のお話を聞くことができました。船内デザインは多くの離島航路船の内装デザインをされた故筭井氏が手がけており、これまでの離島航路船とは一味違った現代的な船内で快適な船旅が楽しめました。

沖繩に出かけたときには、定期航路の大型客船を利用した与論島ワンデイクルーズをしまれてはいかがでしょうか。毎日那覇港を出港していま

やんばる遠望し美ら海を航行

を
出港する船に乗って与
論島に向かいました。

船内には、横になれるカーペット敷きのスペースのほか、ロビーやインサイドプロムナードの椅子席、営業時間以外には

レストランスペースも開放されており、美しい沖館、瀬底島、水納島（みづのり）の海を眺めながらの船旅を楽しむことができます。途中、沖繩本島の

中部にある本部港に寄港。この周辺には、美ら海（ちゅらうみ）水族館、瀬底島、水納島（みづのり）の海を眺めながらの船旅を楽しむことができます。途中、沖繩本島の

（やんばる）の森、左手には伊江島、伊是名島、伊平屋島が次々と現れます。沖繩本島の最北端の

防波堤もありません。その前では船は反転して岸壁